



理学療法学科 卒業研究発表会の様子

## 医療技術学部の歩みと大学院開設



北海道医療大学 医療技術学部長 幸村 近

月日の経つのは早いもので、本学で一番新しい学部学科である医療技術学部臨床検査学科がスタートして4年が過ぎました。入学式が行われたのは平成最後の月でした。年号はその後すぐに令和に変わり、このたび令和5年・2023年3月に最初の卒業生を送り出します。4月、1期生である彼らは新たな一歩を踏み出します。来年創立50周年を迎える本学の長い歴史の中で、新しいページに名を刻むことができたことを光栄に感じています。そして先達のご苦労にあらためて敬意を表したいと思います。

2019年に開設された医療技術学部臨床検査学科ですが、1年も経たないうちにCOVID-19が流行し、今に続くコロナ禍が始まりました。急速導入することになったオンライン講義を含めた教務内容や講義室の調整、学外臨床実習の受け入れ制限のための自習課題の作成など、不規則な対応を迫られました。2期生は入学式も中止となり、5月の連休明けから遠隔授業が始まりました。初めて学年全員が登校したのは夏休み明けの定期試験という状況でした。その後3期生、4期生まで、マスクを取った顔を見ることなく過ごす日々が続いています。それでも学生、教職員が一体となった頑張りで、学部として完成年次をついに迎えることができました。

そこで次のステップとして、大学院(医療技術科学研究科、修士課程)を設置することになりました。臨床検査分野に

おける高度専門職業人の育成が目的です。超高齢化や新興感染症などによる疾病構造の変化、Society 5.0へのシフトと医療AIの進歩など、医療を取り巻く環境の劇的な変化に対応できる臨床検査技師を育成することが急務になっています。臨床検査領域での新規課題を的確に読み取り、予防医学、AIやロボット技術、感染制御などの最新の知識・技術を修得し実践する能力が必要になります。そうした人材を育成することによって臨床検査分野が進歩することが、地域社会の発展と人々の幸福につながると期待されます。

このような背景を踏まえ、医療技術科学研究科では生体機能解析学、病態情報解析学、血液病態解析学、免疫細胞生物学、感染生物学、遺伝子関連検査学、分子細胞病理学などの臨床検査学における専門分野について、学部教育で修得した基礎的能力を発展させるためのカリキュラムを組みました。さらに、社会のニーズや医療分野の課題を視野に入れ、新たな臨床検査の技術・方法を研究する素地を身に付けさせたいと思います。このような教育・研究を推進するため、本学の既存の各学部・研究科、関連諸学問分野の先生方と連携を取らせていただければ幸いに存じます。

本学科卒業生からの進学が決まっている者が3名おります。医療技術学部1期生として卒業する彼らが、大学院生としても先陣を切り、新たな歴史を切り開いてくれるものと信じています。

## CONTENTS

医療技術学部の歩みと大学院開設	1
定年を迎える先生からのメッセージ	2
新任教員紹介	3
2022年度 理事長表彰について	
2022年度 地区別懇談会を開催、 多数のご出席ありがとうございました。 2022年度 就職相談会を開催しました。	4
教員研究活動報告	5
同窓会活動状況	6
薬学部薬学科3年次後期 「医療福祉活動演習(在宅)」実施報告	8
大学体験 REPORT	9
OB・OG訪問[福祉マネジメント学科]	10
インターネットによるご寄附が可能です	11
TOPICS	12
EDITOR'S NOTE	